

●災害の世紀（南海地震）

21世紀は災害の世紀とも呼ばれています。これは、地球温暖化による集中豪雨や強大な台風の発生、また国内外で巨大地震が頻発しているためです。

特に高知県沖の南海トラフで発生が懸念されている南海地震は、今後30年以内に50%の確率で発生すると言われていています。南海地震は約100年前後の周期で繰返し発生しており、今から60年前の昭和21年に昭和南海地震が発生しています。この時の愛媛県内の被害は、死者26名、負傷者32名、住家全壊155棟、非住家半壊147棟、県下海岸線で平均0.5m地盤沈下がありました。その規模は過去発生した南海地震に比べ小規模であったと言われており、今回発生が予測されている南海地震には相当なエネルギーが蓄積されていると言われていています。

平成14年に愛媛県が作成した「地震被害想定調査」によると上島町内では次のような被害が予測されています。

	死者	重傷者	中軽傷者	避難人口	建物全壊	建物半壊
旧弓削町	1人	1人	79人	389人	43棟	666棟
旧生名村	1人	1人	44人	271人	24棟	237棟
旧岩城村	1人	1人	39人	245人	24棟	370棟
旧魚島村	0人	0人	8人	36人	4棟	70棟

地震の規模はマグニチュード8.4、震源（高知県沖）から離れているため上島町における震度は5弱から5強程度（芸予地震は震度5強）と予測されていますが、南海地震は地球規模の地殻変動であり、その揺れは、瀬戸内海地域でも2分近く続き、沿岸部では地盤沈下が発生すると言われていています。

また、南海地震によって発生する津波については、次のように予測されています。

	第1波の到達時刻	50cm水位上昇の時刻	最大波（T.P.+m）	
			津波高	到達時刻
松山港	132分	205分	2.4m	353分
今治港	199分	—	2.0m	360分
新居浜港	235分	—	2.0m	360分

●自助と互助（自主防災組織）

南海地震のような大災害に対する備えは、まずは自分、そして家族を守るという『自助』が基本となります。そして、昔から「困ったときはお互い様」と言いますが、まさしくこの隣近所の助け合いの精神による『互助（共助）』のしくみが自主防災組織になります。この自主防災組織は、『自助』の延長線上にあり、災害時には『自助』を担保するしくみになります。自分達が住む地域を救い、そして自分自身も救われます。そのためにも、今、上島町内においても自主防災組織の結成が求められています。

最近、『減災』という言葉をよく耳にします。いくら人間社会の文明が進歩しても人間の力では災害の発生をくい止めることはできません。たとえ大災害が発生しても、ひとり一人の命を失わないことこそが減災につながります。自らの積極的な取り組みなくして減災はありえません。

『災害に強いまちづくり』の主人公は
町民のみなさん自身です！

8月30日から
9月5日は
防災週間

9月1日は「防災の日」

上島町消防だより

災害時の備えは

万全ですか？

9月1日は「防災の日」です。この「防災の日」は、大正12年9月1日、関東大震災が発生し、多くの死者・行方不明者を出す大惨事となり、その時の教訓を風化させないために、昭和35年に定められました。東南海・南海地震の発生が懸念されている近年、「災害は忘れた頃にやってくる」という言葉もあるようにいつ襲ってくるかわかりません。皆さん備えは万全ですか？

- 〜日頃からの備えが大切！〜
- 《非常時の持ち出し物リスト》
- 飲料水（一人1日3ℓ目安） 3日分は準備しましょう。
 - 非常食（缶詰等） ■ 救急用品
 - 毛布・寝袋等の防寒具 ■ 懐中電灯・ラジオ ■ ヘルメット・防災ずきん ■ 生理用品・紙おむつ
 - タオル・ウエットティッシュ

災害が発生すると、ガラスの散乱や停電が考えられます。枕元に避難用の靴や懐中電灯を用意しておくことが有効です。

災害にも様々なものがありますが、9月は台風シーズンです。台風によ

る大雨も予想されますので次のことに注意しましょう。

■町が発令する避難情報等

	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備情報	人的被害の発生する可能性が高まった状況	高齢者や障害者など、避難に時間がかかる要援護者は避難場所への移動を開始。支援者は支援を始める。
避難勧告	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	対象地域内のすべての住民は、あらかじめ指定された避難場所への移動を開始する。
避難指示	洪水や土砂崩れなどの前兆現象が発生し、緊迫した状況	避難中の住民は避難を完了する。避難をしていない住民は、ただちに避難を開始する。避難する余裕がない場合は、建物の高いところに移るなど命を守る最低限の行動をとる。

※避難情報等が発令されていなくても、危険だと感じたらすぐに避難を始めて下さい。

■災害の兆候に注意！

- ◇がけ崩れ
- ◇がけからの水が濁る。

- がけにひび割れが見える。
- がけから小石が落ちてきたり、地鳴りがする。など

◇土石流

- 山鳴りが聞こえる。
- 降雨が続いているのに川の水位が下がる。
- 川の水が濁る、流木がまざる。

こういった前兆が見られるときは危険信号です。

9月9日は

『救急の日』

「救急の日」は、救急医療、救急業務に対して、正しい理解と認識を深め、救急医療に携わる者の意識を高めるため昭和57年に定められました。

〜救急豆知識〜

残暑厳しい9月ですが、暦の上ではもう季節は秋ですね。そう、秋といえばスポーツの秋！運動会などのイベントも多く開催されるシーズンですが、「ケガをしたがどうしているかわからない」そんな時に備えて簡単な応急処置を紹介します。

◇応急処置【ねんざ編】



①まず、上のように三角巾などの布の上に中央に足を乗せます。



②足の裏にあてた三角巾を足首の後側で交差させます。



③今度は後ろから巻いてきた三角巾を足の前にもってきて交差させます。



④足首に縦に通っている三角巾に手に持っている両端をかかと側から通し、つま先の方に向けて締めていきます。



⑤残った両端を足首で結んで完成となります。

◇ポイント！

- 靴は、靴底の硬い部分が固定の役目をするので靴は履いたままで。
- 冷却を併せて行うと効果アップ！
- スカーフや風呂敷などの布でも代用することができます。
- あくまでも応急処置ですので、早急に病院で診察を受けて下さい。